



# 御船町震災復興計画を策定

みんなが**夢**を持って住み続けられるまち  
の実現を目指して！



御船町は、平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震により、震度5強と震度6弱の地震に見舞われ、これまでに私たちが経験したことのない未曾有の被害を受けました。

御船町震災復興計画(以下「本計画」という)は、震災を克服するべく、単なる復旧にとどまらず、創造的復興に向け、力強く前進するための今後の取組の基本方向をまとめたものです。

## 復旧期—ふつきゆうき—

被災者の生活再建を第一に、道路や水道等のインフラや公共施設、地域コミュニティを元の姿に戻す期間です。計画期間は平成28年度から4年間です。

## 復興期—ふつきこつき—

震災前よりもさらに発展するために、復旧したインフラの活用等を図りながら、まちづくりを進める期間です。計画期間は、平成32年度から4年間です。



## 本計画と総合計画等との関係

本計画と他計画との関係性については、「第5期御船町総合計画」を上位計画、「御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を関連計画と位置づけ、本町の将来像「自然いっばい夢いっばい 活気あふれる交流の町 御船」を実現するため、連携・連動させていきます。



## 計画期間

本計画は、「復旧期」と「復興期」をもって構成し、計画期間は平成28年度から平成35年度までの8年間です。

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
総合計画	第5期基本構想				第6期基本構想					
	第12期基本計画				第13期基本計画				第14期基本計画	
	復興基本方針								復興基本方針	
復興計画	復興計画(復旧期)				復興計画(復興期)					
	復興基本方針									

## 復興に向けた基本方針

### ① 絆と共働を基調とした復興

私達は、今回の震災で、人と人、地域のつながりや支え合いが大切であることを強く実感しました。本町の復興を成し遂げていく主役は、町民や地域であり、創造的な復興を実現するためには、行政と町民等が同じ方向を目指し、連携していくことが重要です。

災害の教訓と経験を活かして、人と人、地域のつながりを広げ、絆と共働を基調とした復興を推進していきます。

### ② 未来へつなげる復興

復興は、単に震災前の元の姿に戻すだけではなく、子どもから高齢者まで、夢を持って住み続けることができ、自然や歴史、文化等の御船固有の地域資源を最大限に活かして、新しい御船町を創造していきます。

### 復興の将来像

復興した町の姿を示す「将来像」と、復興に向けた町民の決意を示す「スローガン」を設定しました。

### 将来像

「みんなが夢を持って住み続けられるまち」

### スローガン

「あの日を忘れず、共につなごう未来へ！」